

## 全教広島第65回中央委員会 子どもたちを再び戦場へ送らないために！ 全教を語り、仲間をひろげたい！



2月3日に全教広島第65回中央委員会をオンライン併用で開催しました。多忙を極める職場、困難な中でも子どもたちの思いに寄り添う実践の大切さや仲間を広げる取り組みや職場の実態等が多くの中央委員から語られました。執行部提案の議案がすべて採択されました。

開会挨拶で、船石副委員長は自治体への教育キャラバンの実施について触れながら、「これ以上学校はもたない」実態を克服するため、対話と共同をすすめ、仲間を広げる活動に取り組みようと強調しました。

その後、執行部提案が行われ、11人の討論の後、すべての議案を採択。開会挨拶で小林委員長は、「教育実践と教育条件整備の課題をすすめつつ、あたたかい全教広島の運動をひろげよう」と締めくくりました。

### 【主な発言の概要】

■全教を活性化していきたい。組織拡大は、必須の課題です。今日入らなくてもいいんです。この加入対話がいつか実を結ぶかもしれません。コップに水を貯めるつもりで、加入対話を進めていきましよう。下手な鉄砲も撃たなきゃ当たりません。

【広島市教組(全教)】

■確定交渉では、「長期の不妊治療休暇」の実現や産休・育休の取得期間に応じて引継期間を拡大するという権利の前進があった。実際にはなかなか休みを取りにくい実態があるので、さらに働きやすい職場を目ざして今後も取り組んでいきたい。

(女性部)

■非常勤講師の勤務についてはその勤務条件は厳しいもので、提出物点検、テストづくり、採点、そして成績づけ等全てが時間外です。1、2時間の週案作成時間では全然足りません。遅くまで残ったり、勤務日でないのに来ざるを得ないという状況もあります。改善を望みます。全教7つの提言を押し進めることが必要です。

(尾道支部)



### あらくさ

音楽科の学習で、「赤とんぼ」について学んだ5年生。歌には作者の思いが込められていること、特に、「悲しみ」が取り上げられている歌も多いことを知った。日頃使っている歌集から「悲しみ」が歌詞に使われている歌を探した。「ピリッ」「アオギリの歌」「折り鶴」：次々に見つけた。「手のひらを太陽に」にもある、と声が上がった。「生きていくから悲しいんだ」：「悲しい」：確かにある。この歌の作詞者は、やなせたかしさんだね。」と私が言った途端、子どもたちは、はっとした表情になった。

5年生の子どもたち、国語科で「やなせたかし」の伝記を学習していた。彼が経験した戦争、絶望と向き合う日々、「アンパンマン」に込めた願い：学んでいたことが、この歌の歌詞の背景と結びついた。ただ歌うのではない、言葉に込められた思い、願い、折り：それを感じながら、探りながら歌う：授業の一面、このような営みの積み重ねが、子どもたちの確かな未来をつくっていくと信じている。

(U)

# 市民の声を教職員の声をいろいろな形で発信していく…

■養護教諭の仕事は、給食業務、小規模校では校務分掌の分担が多く割り当てられ、大規模校では保健事務など、ただけでも大量の業務となっている。今年も養護教諭の複数配置の署名に取り組み、「子どもの顔が見えて、名前がわかる」300人に1人の養護教諭の配置を要求したい。  
(養護教員部)

■残念なことですが2年続けて国語科教員の本務者・臨採が病休に入りました。代わりの先生が見つからず、学校の運営に支障をきたすような状態になっている。福山市内の中学校では、通級指導教室が5校設置されている。しかし本年度、その内の1校が閉鎖となった。県や市が「個に応じた指導」の必要性を説くのであるなら、ニーズが高まっている特別支援教育に力を注いでいくべきだ。  
(福山支部)

■平川教育長が3月末に任期満了になることに伴い、退任する方向。県教委「官製談合問題」をこれで幕引きは許されませぬ。平川教育長によつてすすめられた「民間教育事業」の発端は経済産業省「未来の教室」で

す。この流れをストップさせましょう。  
(高校連絡会)

■史上最悪のジェノサイドを受けたヒロシマの教職員として、ガザの惨状を知り、何かできないかと実施した「ストップジェノサイド教職員行動」。60名の参加で実施。市教組(全教)ではなく、「子どもたちを守りたい教職員行動実行委員会」として、他の教職員組合にも「組合としてではなく教職員として参加してほしい」と呼びかけました。市民の声を教職員の声をいろいろな形で発信していくことが、世界を動かす一歩となると思っている。  
(広島市教組(全教))

■自由進度学習の導入で多忙化がすすみ、働き方改革に逆行している。「事前の教材づくり」等で大変になっている。誰もやりたいたと思っていない。おかしいの声をあげたい。  
(佐伯支部)

■「自立と尊重がテーマ」。指示や命令では子どもたちは動かない。ホンモノの信頼をつくるため。「声かけの工夫」「ていねいな関係づくり」「トラブルが起き

た生徒への対応」「対話と合意形成」このような取り組みを継続して、「子どもが変わる」を支援したいと思う。  
(福山支部)

■ITC推進校でも取り組みはすすんでいない。積極的に活用している教師は少ない。「時間もつたらない」など矛盾が広がっている。教育条件整備や支援員の配置が必要だ。  
(広島市教組(全教))

■安芸郡の仲間が集まって交流会を実施。情報交換がすすんだ。海田支部では、岡田先生の奮闘もあり総合共済加入が大きいです。9名が加入してくれた。共済の加入を組合加入につなげたい。小さな一歩を踏み出したい。  
(海田支部)



【抽選で豪華賞品をゲット】

## 「総合共済」純増を達成！ 共済の加入を組合加入につなげよう！

全教「総合共済」が全県での奮闘の結果、申請数で組織純増を達成しました。昨年末にあと20件となっていました。何と1月で20件以上の加入となり一気に純増を達成しました。海田支部のO先生は職場を中心に10人に声掛けを行い、9人に加入していただくという大奮闘でした。

### 「おしゃべりカフェ」開催

広島では、職場で「おしゃべりカフェ」を開催。「おいしいスイーツが食べれるよ」と親しい同僚に声をかけた。共済の話を役員の方がしてくれたあと、職場の話をした。職員室でいろいろ話をしていたはずだったが、働き方については話をすることがなかった。共済の話を通して、働き方について考えた。「おしゃべりカフェ」を終えて、参加者から「教員の味方がいることが分かった」とうれしい感想をもらった。今度は「仲間になってほしいと声をかけようと思う」という感想が寄せられました。

全教自動車保険

証券送ってご当地グルメゲットだぜ!

自動車保険の証券を送付いただくだけで、お好きなご当地グルメをプレゼント！  
最高の申込方法で、ご当地グルメと保険料を同時にゲットしたい！  
応募期間：2024年3月31日まで

一般契約より約19%割安!!	一般契約 年額 102,360円	早割 年額 19,500円 お断りなさい!	団体契約 年額 82,800円
----------------	---------------------	-----------------------------	--------------------



# 業務量に見合った教職員配置と 教員に残業代を支給可能とする給特法の改正を！ 全教広島が全自治体キャラバン実施

全教広島は1月中旬〜2月初めにかけて、県内全自治体の教育委員会と議会に対して「教職員増員」「教員に残業代を支給可能とする給特法の改正」を求めるキャラバンを行いました。全教が出した「教職員定数の抜本的改善」「少人数学級推進」「長時間労働解消につながる給特法改正」等7つの提言をもとに、率直な意見交換を行いました。

①現場と行政が教職員の労働実態を共通的に理解した ②事態の打開のために同じ方向へ向けて取り組みを進めていく可能性を示した。という2点において大きな意義がありました。「長時間勤務に歯止めを」の署名のような全国レベルでの運動と並行して、先生だけでなく父母・市民、子どもたちも一緒になった運動を各地で展開すれば、国政を動かせるチャンスが到来していると感じました。

参加した役員からは、「今回はじめて懇談する地

教委も多く、それぞれの地教委の「働き方」改革の様子、「教員不足」の実態等を知ることができた」「議会事務局との懇談でも要請に理解を示してもらえた」などの感想が寄せられました。

どこの教育委員会からも「全教7提言」への共感が寄せられるとともに、業務量に見合った人員配置の必要が語られたことが特徴でした。

## ■ 各市町の教育長に対する要望書（国・県に対する要請を）

- 1、国の責任で、学校の業務量に見合った教職員配置をすすめるため、定数法(義務標準法、高校標準法)の改正をすること。
- 2、長時間労働を抑制するため、教員に残業代を支給可能とする給特法の改正をおこなうこと。
- 3、「教育に穴があく」状況を解消するため、代替制度を確立し、代員を速やかに配置すること。

## ■ 各市町の議長に対する陳情書（国に対する意見書採択を）

- 1、国の責任で、学校の業務量に見合った教職員配置をすすめるため、定数法(義務標準法、高校標準法)の改正をすること。
- 2、長時間労働を抑制するため、教員に残業代を支給可能とする給特法の改正をおこなうこと。



【広島市教育委員会】



【神石高原町議会事務局】



【竹原市議会】

## 教員の長時間勤務は「学校の危機」 18万人分の署名提出

「このままでは学校がもたない」と、教育研究者有志の呼びかけで昨年5月から全国で展開した署名運動の結果、**18万2226人分の署名が集まり**、2月15日、文部科学省に提出しました。**全教広島からは、2、534筆を集約**しました。中教審も2月14日から審議に入っていますが、現場の切実な願いに向き合わない議論がつづいています。

▼教員にも残業代を支給する ▼学校の業務量に見合った教職員を配置する ▼これらを実現すべく教育予算を増額する—こうした要求はますます重要になっています。15日夜には参院議員会館での院内集会も開かれ、全教広島神部書記長が「県内全自治体に先生増員を求めるキャラバンを実施した」と報告しました。



## 原爆ドーム前スタンディング行動

# 子どもを守れ!

Stop Genocide!



1月28日(日)に原爆ドーム前でスタンディング行動を行いました。ガザでの惨状を報道で目の当たりにし、ヒロシマの教職員として何か行動しないと!と企画しました。市教組(全教)だけの取り組みではなく、広島市で働く教職員の行動とし、他の団体にも呼びかけました。その結果、市教組(全教)の関係以外の他の市教組や私学からの参加だけでなく、高校生の参加もあり、全体およそ60名の参加となりました。

集会では「ねがい」と「ヒロシマの有る国で」を秦賢二書記次長のギター演奏により参加者みんなで合唱しました。

また、リレートークには倉澤さん、藤中さん、山本さんの3人が発言しました。

「ここヒロシマは、原子爆弾の投下という史上最大のジェノサイドを受けた場所。そのヒロシマの教職員として、戦争反対、ストップジェノサイ

ド、の声を挙げることも、世界の平和につながると思う。話し合っ解決しよう、それが子どもたちにとっての、何よりの平和教育だ。」などの発言に、参加者からは拍手があがりました。

【参加者の声から】

○前日の夜遅くに、「市民が見たガザ地区」という番組を見ました。ほんとに酷い。今回参加に際して熱が上がりました。

○60人も集まって心強く感じました。女子高生が加わってくれたので訴えるパワーが増した。戦争をしている国があることを忘れてはいけないと思いました。などの感想がありました。



## 春一番キャンペーン はじまります!

みんなでチョコッとひと息 全教共済『春一番キャンペーン』

加入者・紹介者に  
7千cafesetプレゼント!

「全教広島」組合加入者と紹介者!「全教共済」「全教自動車保険」の加入者と紹介者の方に(リンツのチョコ2個とスタバのドリップコーヒー1パック)×3セットプレゼントします。

2024年2月3日~2024年6月30日まで!



さあ、さあ!!  
抽選で期間中の加入者・紹介者30名の方に  
銀河ランチクルーズにご招待!!  
2024年7月予定

### 24-25 全教広島役員選挙投票

全教広島の役員は規約によって任期2年となっていますので、今年度は役員選挙の年です。選挙公報と投票用紙は届いていますか。すべての仲間みなさんが投票に参加していただくようお願いします。

■全教広島選挙管理委員会への最終〆切は、3月16日ですが、支部の〆切はもう少し早くなっていると思います。ご確認ください。

### 全教広島ホームページ 随時更新中!



全教広島のホームページはご覧になりました。さまざまな情報を掲載しています。ぜひご覧ください。  
←(左記のQRコードから)